

淡路島まつりに参加しました！

ふくろう新聞

<発行>

特別養護老人ホーム
淡路ふくろうの郷
広報委員会
洲本市中川原町中川原
28番地1
TEL:0799-25-8550
FAX:0799-25-8551



歴史ある第59回淡路島祭りにまだ開所後4ヶ月の淡路ふくろうの郷が参加して淡路島のみなさんと一緒に踊りました。

職員・入所者・ボランティア、みんなお揃いのふくろうのハッピを着ての参加です。

まずデフ・あわじ連が踊ります。見学者は上手な踊りに手を上げて拍手喝采です。顔なじみの方が通ると手の動きと笑顔も一層増します。そしてふくろうの登場！なんとふくろうのまといを持っているのは車椅子に乗った花房ふさ子さん。

淡路島まつりは多数の入所者が参加する一大イベント！初めてで準備に手間取りながらも大成功に終わりみんな大満足でした。9月には地元淡路協・サークルの皆さんとの敬老旅行もあり、楽しい行事がいっぱいです。



かわいらしい笑顔で周りの空気を和やかにします。その後に入所者で作った横断幕「がんばろう！淡路ふくろうの郷」。続いて入所者の皆さんが踊りながらやってきました。ある入所者さんは普段は部屋の中にいることが多いのですが、この祭りの心地よい雰囲気笑顔で手を振っ

ていました。踊りが最後尾になると見学者も見ただけでは物足りなくなり飛び入り参加。みんな一緒にゴールしました。

この後は広場でみんな集まって踊り合い。職員・入所者・ボランティアをして頂いた神戸ろうあ協会青年部・老壮年部の方々、その他ボランティアをお願いした方々も、みんなが笑顔・笑顔・笑顔で本当に楽しいおまつりでした。

今回はデフ・淡路連の皆様と合同での参加でしたが、来年は「ふくろう連」として参加したいです。

デフ淡路の皆さん、ボランティアの皆さんご協力ありがとうございました。



あたたかな交流会に笑顔の花咲く



▲交流会は地域交流スペースでおこなわれました。

7月15日(土) 中川原にお住まいの一人暮らし高齢者のみなさんとの食事がおこなわれました。初めての試みでしたが、終始なごやかな雰囲気の中で時間が過ぎました。最初施設を見学していただきました。参加者からは、「入居者と職員が一緒に居るといふ空気、自分で自分のことをやるという意識があるのはすごい！」

「中川原に静かでこんなに良い所があるなんてびっくりしました」

「階段の踊り場にある詩を見て感動し、元気をもらいました」

「感想をいただきました。見学が一段落した時にはお昼前。ふくろうの入居者の方との食事会です。皆さんには

ふくろうの郷特製お弁当を召しあがっていただきました。お弁当の感想でも、

～当日のお弁当～



- ・天婦羅
- ・海老
- ・キス
- ・玉ネギ
- ・茄子
- ・ピーマン
- ・うなぎの蒲焼と酢の物
- ・手まり寿司
- ・冬瓜の茶碗蒸し

- ・赤だし
- ・スイカ



「手間をかけて、心がこもっておいしかった」

「酢のゼリーと冬瓜の茶碗蒸しが珍しくおいしかった」

「手まり寿司の味付けがとても良かった」

と、感嘆の声が多数でした。

食事会の後、ふくろうをかけたどったバッジ作りも行われ、皆さん隣通しで語り合いながら懸命に作ってらっしゃいました。

参加者からは「今回限りで終わる事無く、今後も続けてほしい」と口々におっしゃられていました。これからも、施設の人々や地域の人々と、交流する機会を増やし、中川

8月生まれのみなさんです!!

右から
廣瀬さん(82歳)
大正13年8月5日生

谷村正雄さん(80歳)
大正15年8月16日生

大鋸 實さん(87歳)
大正8年8月25日生



おめでとうございます!

原に住んでいて良かったと思っただけのような良い地域作りにも貢献できるようにしたいと思っています。

(調理・岩林)

家族の絆

今月は笑顔がすてきな長塚初枝さん、淑子さん親子をご紹介します。

先に入居されたのは娘の淑子さんでした。入居された時、ご家族一緒にふくろうの郷へ来られました。そのときから淑子さんの笑顔は会心のものと輝かせ楽しそうに笑う淑子さんはすぐにユニットの人気者になりました。



右:長塚淑子さん(57歳) 昭和24年5月28日生
左:長塚初枝さん(85歳) 大正10年7月5日生

一ヶ月過ぎたころ、お母さんの初枝さんが入居されました。当日、淑子さんは初枝さんの顔を見るなり声をだし、満面の笑みで家族を向かえ、喜びを表していました。初枝さんは久しぶりに会う娘を前に少し戸惑った様子でした。

顔が真っ赤になるほど笑っていた淑子さん、大きな目から涙が流れていました。

それからまた一ヶ月、淑子さんに変化が見られるようになりました。今まで少なかった手話表現に、動かす手の表現が増えたのです。ほかに感情表現に微妙な変化が出て、喜ぶ表情にも違いが出てきました。

この変化は入居者の皆さんや職員が手話を使っていることと、母親の初枝さんと一緒に暮らしていることが淑子さんにとって良い環境だからでしょう。初枝さんも淑子さんにやさしく声をかけられています。

これからも淑子さん、初枝さんが一緒に過ごす時間を大切にしていただいて、ふくろうの郷での新しい一面を引き出せばと考えています。

収穫祭は雨の中

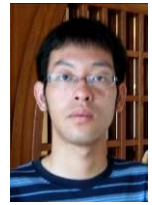
7月8日(土)、みんなが待ちに待った収穫祭。

雨のことを考え玄関前にテントを張りました。夜まで雨が降らないことを祈りながら準備をしましたが、始めようとしたその時、西から雨雲がやってきてしまいました。



ポツリポツリと降っていた雨も肉が焼けるにつれ、土砂降りに。雨にも負けずテントの中、みんな集まり肉と野菜とを味わいました。みんなの食欲に、肉と野菜の焼けるのが間に合いません。久しぶりにビールを飲まれた方もいて顔を赤らめながら嬉しそうでした。もうひとつの楽しみであった流しそうめんも、わずかな人だけでしたが、楽しんで頂きました。最後は焼きそば作り。みなさんお腹いっぱいになりました。ご協力頂いたデフ連の皆さん、手話サークルの皆さん本当にありがとうございました。

避難訓練をして



防災委員

久保高洋

6月30日(金)、避難訓練を行いました。開所後初めての試みで、「怪我や事故がないだろうか？」との不安を抱いていましたが、いざ始まると入所者、職員ともに素早く行動することができ、思っていたよりも早く避難することができました。

また消防署の方に、消火器や消火栓の使い方を見せていただき、実際に消火器を使い、火を消したり、放水練習をする事ができました。盲ろうの方も放水ホースを手に取り練習に参加しました。時には笑顔も見られたりして、楽しく訓練されている姿が印象的でした。

これからも避難訓練を実施していき、防災の意識を高める場にしていきたいと思っております。

職員からひつじ



「まだ三ヶ月
足らずの心境」

私は皆さんより一ヶ月遅れで期待と不安を抱きながら、「淡路ふくろうの郷」の職員となりました。今も手話が不慣れで、相手の手話もわからない、自分自身もそれなりに努力しています。が難しくて…。

好きで選んだ仕事ですが、手

話が不慣れな自分を責めたり、諦めかけたり、本当にこの道に進んだのが良かったのか考えさせられる毎日です。

でも、私の手話が伝わらなくても笑顔で接してくれる方、また間違っていたら教えてくれる方、色んな形で接して頂いております。入居者さんの笑顔を見れば、また頑張ろうという気持ちが出てきて、元気がでてきます。

毎日が自分との戦いです！

(介護職員 小井手 佐与子)

8月・9月の予定

- 8月 3日 誕生会
- 5日 淡路島祭り
- 6日 花火大会
- 30日 講演「歯の衛生について」
- 9月 16・17日 淡聴協との敬老旅行
場所：三重県蒲郡

～寄付者紹介～

- ・散髪用鏡 匿名 (神戸市)
- ・島まつり参加用はっぴ一式
花房豊治・ふさ子さん (洲本市)
- ・野菜 中川原青空会
- ・プランター、花等 森本 さん

ありがとうございました



～淡路ふくろうの郷オリジナルグッズ紹介～

かわいいふくろうの刺繍入りハンドタオル
3色あります。(ピンク・ブルー・イエロー)
1枚 350円、3枚セットは1,000円！お得です。
他にもふくろうバスタオル 1,300円(ふくろう特価 1,100円)
ふくろうグッズ(マウスパット、クリアファイル、シールなど)

淡路ふくろうの郷来所記念に、是非お買い求めください。

